

ブドウ

「クイーンニーナ」

「グロースクローネ」

の技術対策



令和6年3月
滋賀県農業技術振興センター
農業革新支援部

<目 次>

I	はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
II	品種特性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
III	「クイーンニーナ」 着色不良対策・・・・・・・・	4
IV	「グロースクローネ」 花ぶるい対策・・・・・・・・	7
V	「クイーンニーナ」、「グロースクローネ」 房型改善対策	
	1 ジベレリン1回処理・・・・・・・・・・・・・・・・	9
	2 摘粒方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	11

I はじめに

本県におけるブドウ栽培面積は、令和4年度で約47.1haあり、近年、増加傾向にあります。

品種別では、中粒品種の「マスカット・ベリーA」（約9.1ha）、大粒品種の「竜宝」・「紅伊豆」（約7.1ha）、「シャインマスカット」（約4.1ha）が多く栽培されています。近年では、平成30年から推進を図ってきた「シャインマスカット」の栽培面積が増え、農産物直売所などに出荷されるようになりました。

しかし、「シャインマスカット」は8月下旬以降に収穫できる品種であり、8月上旬から収穫できる主力品種の「竜宝」や「紅伊豆」と収穫期が異なるため、「シャインマスカット」と同時期に収穫でき、セット販売可能な大粒の有色品種が求められています。

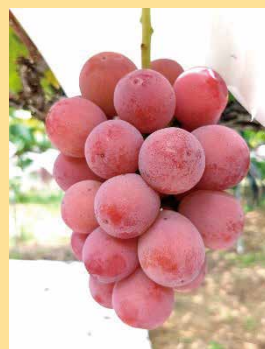
そこで、赤色品種「クイーンニーナ」と高温下でも着色しやすく、果粒が大きく食味が良好である黒色品種「グロースクローネ」を有望品種として推進した結果、栽培面積が拡大してきました。しかし、実際に導入が始まると、「クイーンニーナ」は着色不良、「グロースクローネ」では花ぶるい、また、両品種とも房上部の肩部分の果粒が欠けやすく、まとまりのある房がづくりにくいなどの問題が顕在化しました。

今回、現地で取り組んだ技術対策とその成果を取りまとめましたので、指導の参考としてご活用ください。

II 品種特性

1 「クイーンニーナ」

- ・ 巨峰系四倍体品種
- ・ 「巨峰」や「シャインマスカット」とほぼ同時期に成熟し、8月下旬以降が収穫期となる。
- ・ 果粒は15～20gとなり、果皮色は赤色で、肉質はやや崩壊性で硬く、フォクシー香と呼ばれる米国種独特の香りがある。
- ・ 糖度は19%以上と高く、酸含量も少なく、食味は優れる。
- ・ 目標収量は1,200 kg/10aに抑え、着色を重視する。
- ・ 棚下の明るさを確保するため、葉影率80%以下を確保できるよう新梢管理を行う。



2 「グロースクローネ」

- ・ 巨峰系四倍体品種
- ・ 「巨峰」や「シャインマスカット」とほぼ同時期に成熟し、8月下旬以降が収穫期となる。
- ・ 果粒は18～20gの極大粒となり、果皮色は紫黒色で、「巨峰」や「ピオーネ」よりも濃くなる。
- ・ 糖度は17%以上となり、食味は優れる。
- ・ 目標収量は、1,200～1,400 kg/10a
- ・ 遺伝的に着色しやすいため、葉影率90%を目標とし葉面積を確保する。

